

2021年3月30日

各位

会社名 ピジョン株式会社
代表者名 代表取締役社長
北澤 憲政
(コード番号：7956 東証第1部)
問合せ先 執行役員経営戦略本部長
田窪 伸郎 (03-3661-4204)

ガバナンス委員会設置のお知らせ

ピジョン株式会社は、2021年3月30日の取締役会において、当社を中心としたピジョングループにおけるコーポレートガバナンスのさらなる強化のため、新たに「ガバナンス委員会」の設置を決議したことをお知らせいたします。

■委員会設置の背景・目的

当社がコーポレートガバナンスの目的として掲げる「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため」には、「従業員をはじめお客様・取引先・株主の皆様・地域社会等の立場を踏まえたうえで、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組み」である当社のコーポレートガバナンスをさらに強化していかなければなりません。そして、このコーポレートガバナンスの強化は、サステナビリティ経営の視点から当社が設定する6つの重要課題（マテリアリティ）の解決のための進捗を確認し、指導・支援する仕組みを更に強化することに他なりません。

そのためには、会社法その他の会社法制（企業統治等関係）や指針・準則等の遵守と実践にとどまらず、当社でのサステナビリティ経営における ESG/SDGs やリスクマネジメント、コンプライアンス、内部統制その他のコーポレートガバナンスに関する対策および実施内容を更に充実させることが必要です。

現在、ESGにおけるE（Environment）およびS（Social）は、サステナビリティ委員会が中心となって重要課題への対処を統合・推進し取締役会へ報告することを通じて、取締役会によるガバナンスが図られる仕組みを導入しております。同様にG（Governance）につきましても、リスクマネジメントやコンプライアンス、情報セキュリティはリスクマネジメント委員会を通じて重要課題の対処および取締役会への報告を実施しております。このリスクマネジメント委員会主導の対処・報告と、内部統制その他の当社におけるコーポレートガバナンスに係る機能や役割そして会社法制や指針・準則等から抽出される課題とを、有機的に連携し統合することで、コーポレートガバナンスにかかる各機能・役割の部分最適を超えた、当社としてのコーポレートガバナンスの全体最適を図ることが可能となります。その結果、コーポレートガバナンスに関する対策および実施内容の更なる充実が図られることとなります。

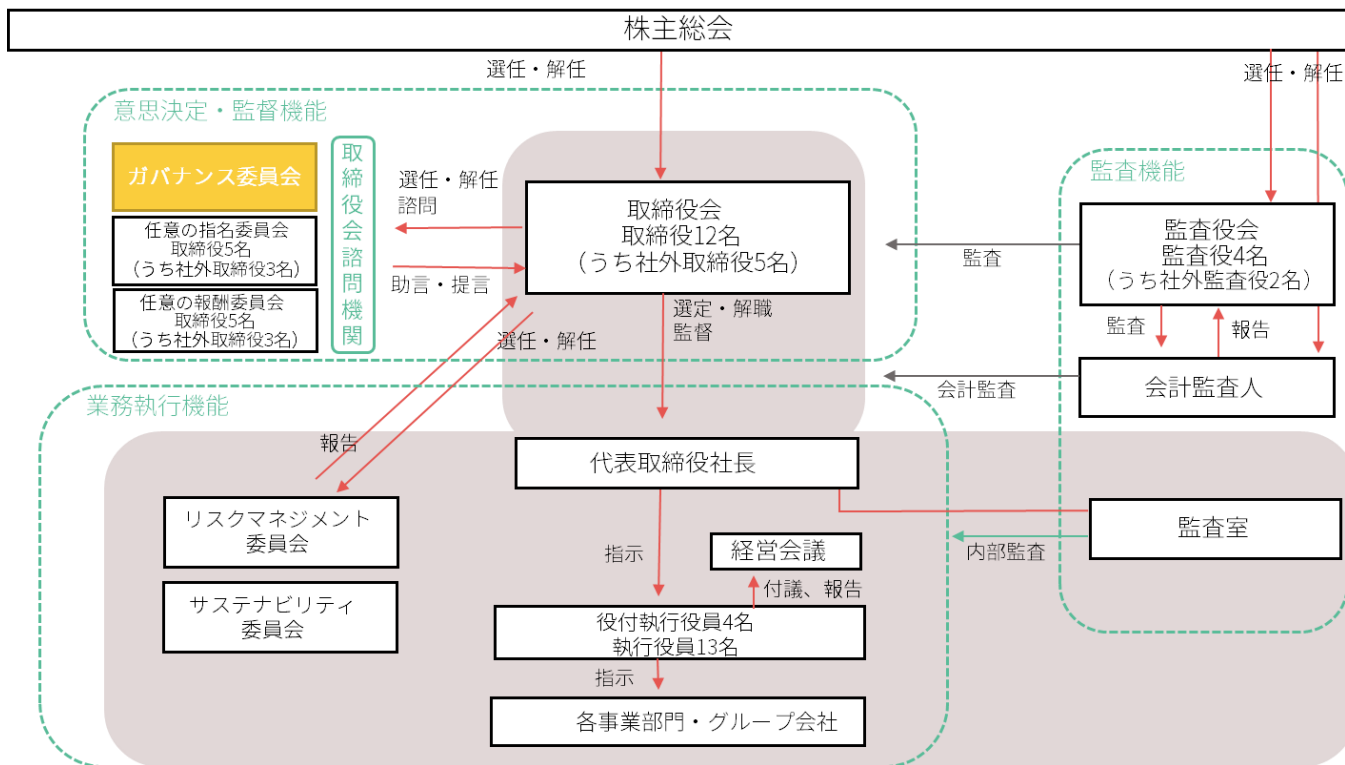
そこで、コーポレートガバナンスにかかる個々の機能や役割、課題等の有機的連携・統合を促進し、かつ、主体的に実践するため、取締役会の諮問機関として、ガバナンス委員会を設置いたします。

■委員会の構成

本委員会は、社外取締役：鳩山玲人氏を委員長とし、代表取締役会長兼取締役会議長：山下茂氏、代表取締役社長：北澤憲政氏、取締役専務執行役員：板倉正氏、社外取締役：林千晶氏、社外監査役：大津広一氏、社外監査役：太子堂厚子氏を委員として構成されます。

委員会の活動内容につきましては、取締役会に報告ないし諮問するだけでなく、必要に応じて公表してまいります。

■ ガバナンス委員会の体制図



以上